

まちづくり検討会議 前期(平成27年5月～平成29年4月)の取組内容

委員会	テーマ	選定理由
総務常任委員会	市民の力を活かした まちづくり	少子高齢化が進み、自治会や市民活動を担う人材の高齢化も進んでいます。本市では若い人材がいないわけではありませんが、日常生活が多忙のため地域活動に時間を割くことが困難な場合が多いと思います。また地域の人々の価値観が多様化され、統一した目標や行動に対し違和感を持つ人々が多くなり、地域活動への関心が薄れつつあります。 それらの理由を解決し、活発で住民に有効な地域活動が行われるような対策が必要なため選定しました。
産業建設常任委員会	広域幹線道路を活用した まちづくり	本市の交通インフラは、新東名高速道路、国道246号バイパスの工事が進捗するとともに、（仮称）伊勢原北インターチェンジの建設も進められ、さがみ縦貫道路も含め飛躍的な改善が図られています。 これらの交通網の利便性を活かしたまちづくりは、将来にわたり安定した市政運営の必須条件で、観光振興施策、土地利用施策、商業振興施策と幅広い分野で一体となった取り組みがなされなければなりません。 この交通環境を活用したまちづくりの方向性を、明確に示す必要があるため選定しました。
教育福祉常任委員会	子ども政策 ～いせはらっ子を 守り・育てる～	社会環境は急速に変化し複雑化していることが、将来ある子どもたちの成長にも様々な影響を及ぼしています。 心身ともに豊かに成長できる居場所の確保や、地域として守り・育てる支え合いの仕組みの構築、学力・運動・食育環境の充実、自分の住む地域の歴史を学び、自分のまち伊勢原に愛着をもつことによって、いせはらっ子の良好な成長環境の整備を目指すため選定しました。